

事業計画書

平成29年度(第7期)

自:平成29年4月1日～至:平成30年3月31日

公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会

平成29年度(第7期)自平成29年4月1日～至平成30年3月31日 事業計画書

祇園祭山鉾町最大規模の町家遺構である杉本家住宅とその環境を保存・公開し、商家独特の諸行事の継承・保存・公開を行い、併せて町人文化を研究・調査し、もって地域の伝統文化の振興及び学術文化の発展に寄与することを目的とする(定款第3条)当財団の設立主旨に基づき、平成29年度は以下の事業を行う計画である。

事業(定款第4条)

1. 杉本家住宅及び庭園の保存・公開
2. 杉本家伝来の調度類及び什器の保存・公開
3. 商家独特の諸行事及びその関連諸行事の継承・保存・公開
4. これらの資料に基づく町家遺構と町人文化の調査・研究の報告書等の作成及び刊行
5. 杉本家及び日本の伝統文化に関する物品の提供
6. その他、目的を達成するために必要な事業

定款に基づく上記の事業について、以下5つの区分をもって事業活動を行うものとする。

(1)保全

- 1) 大掃除一表玄関・店の間(伯牙山お飾り所)・座敷・仏間・台所・洋間他
- 2) 庭園管理一植木剪定、薬剤散布、寒肥え
- 3) 自動火災報知装置および消火器の点検
- 4) 改修・修繕・整備ならびに計画案の立案(別紙1)
- 5) 建造物点検(別紙1)
- 6) 修理費用寄付金の募集
- 7) 自主防災・非難訓練および防犯対策
- 8) 美術・工芸品の修理・修復(別紙1)

(2)継承保存

- 1) 年中行事一正月・節分・彼岸会・すす払い(6月・12月)・建具替えなど
- 2) 節句行事『端午の節句飾り展』(4月29日～5月6日)
- 3) 祇園祭『伯牙山お飾り所(店の間)』(6月最終日曜日、7月14～17日)
- 4) 宿場入り『奈良屋創業記念日床飾り』・『祝い膳』(8月5日)
- 5) 報恩講『仏壇荘厳』(11月末)

(3)公開 ※1)～3)別添ちらし参照

- 1) 杉本家住宅一般参観
 - ① 毎月(特別一般公開の開催月以外)第1土曜午前・事前予約制
 - ② 一般公開『京町家の日常風景』(予約不要)祇園祭前祭・後祭期間ほか
- 2) 奈良屋創業期資料の展覧(常設一屋根看板、古文書類)
- 3) 年中行事の特別一般公開
 - ① 春の特別公開『端午の節句飾り展』会員・一般公開4月29日～5月4日
 - ② 夏の特別公開『祇園祭屏風飾り展』会員公開7月12・13日／一般公開7月14～16日
 - ③ 祇園祭お飾り所(一般公開)7月14～16日
- 4) 出版物に対する資料の等の掲載公開
- 5) 当会主催による公開事業
- 6) 他主催による催事への会場提供
- 7) 事業連携先主催による催事などへの会場提供一京都女子大学事業連携
- 8) 公式HPによる事業活動内容および財務諸表の公開
- 9) 立命館大学「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」事業による「京都・文化財アーカイブ事業」DVD化(別紙1)

(4)調査研究

- 1) 古文書類・伝来調度類の調査及び研究の報告書等の作成及び刊行
- 2) 建造物ならびに町家生活の調査及び研究の報告書等の作成及び刊行
- 3) 防災対策に係る調査・研究及び検討

(5)会員組織

- 1) 維持会員の募集
- 2) 会報(第23号)の発行(6月末発行予定)
- 3) 杉本家住宅の見学会および年中行事の参観

別紙1 平成29年度主な事業計画

(1) 保全

4) 改修・修繕・整備ならびに計画案の立案

① 工事名『重要文化財杉本家住宅附旧米蔵及び附高塀保存修理事業』

平成28年度第一期工事(平成28年1月19日着工、平成28年度国庫補助金。)

平成29年度第二期工事(平成29年?月?日より第一期工事延長、
平成29年度国庫補助金。)

・建物の概況と工事進捗 ※平成28年3月現在

旧米蔵は主屋上棟(明治3年)とほぼ同時期に建造されたとみなされる。

建物は、米蔵と炭小屋として内部で仕切りを設けそれぞれに使用された。

昭和50年頃、内部を改修・改築(床の設営、壁面クロス貼り加工、戸棚の取り付け、屋根裏の漆喰塗り加工など)されており、平成28年度の工事では、損傷の程度の確認、原状の確認をしつつ、工事の具体的な進め方を検討してきた。

平成29年2月末までに行った損傷状況確認作業の結果、旧米蔵の柱、土壁の腐朽が著しいことなど、当初の想定を越える損傷の広がりなどが確認された。

文化庁調査官視察後、平成29年度工事計画の見直しの予定。

・文化庁調査官視察の結果と文化庁の提案

上記状況を踏まえ、平成29年3月7日、文化庁調査官の視察の結果、修理工事計画内容を、現状に応じたものにする必要性が提案された。米蔵は、一旦解体の上、原状復帰に加え、今後の用途によっては、不特定数の者の建物内への出入りを想定する場合、耐震診断ならびにそれに対応する施工の必要性が提案された。

炭小屋は、現状から必要に応じて補強の必要性が提案された。

・工事費用について

平成28年度第一期と平成29年度第二期を合わせ工事費用は約**3400万円**程度(補助率80%)の見込み。※平成29年3月現在、補助金申請中。

② 大蔵一階北東角の床板

28年度に新たに白蟻被害が発見された。被害範囲の床板2枚の取り替え。

5) 建造物点検

例年通り、6月の大掃除の際を主として、大屋根を中心とした屋根回りと併せ、床下の白蟻による被害等の点検を行う予定である。以下については、すでに損傷が進んでいることが想定される為、不測的に修理が必要となった場合は、随時状況に応じて対処する。

【今年度以降の修理予定】

① 仏間内陣床板の全面修理

② 大屋根瓦並びに座敷軒柿葺き替え

※平成29年度中に詳細の点検を行い、工事計画を立案の予定。

以下は、業者見積もり(平成25年度)

座敷軒柿葺き修理

1. 柿葺一部葺き直し 900,000(税別)

2. 柿葺全面改修 1,980,000(税別)

③ 西塀修理

④ 砂雪隠

⑤ 北側黒塀修理

6) 修理費用寄付金の募集

改修工事見積りの上、当該修理のための寄付金募集と積立年数を含み5年から10年間で完了の工事計画を検討中。修理費用について、寄付金を随時募集。

※今後予定される修理工事に関しては、京都府文化財保護課に計画等を相談。

※現状の調査、修理内容の検討をふくみ、見積りは文化財保護課が作成。

①寄付依頼先候補の検討

②寄付募集方法の拡大

・SNSでの情報公開(英語表記含む)、クラウドファンディングによる寄付募金の検討など

例)クレジットカード、募金サイト、銀行・郵便局、遺産・相続財産など

7) 美術・工芸品の修理・修復

今年度の修理・修復の事業計画はない。

ただし、防災・保護の見地から、主たる美術工芸品の保存について、京都国立博物館へ委託の検討を始める。

9) 立命館大学「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」事業による「京都・文化財アーカイブ事業」DVD化

昨年度に引き続き、立命館大学「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」事業による「京都・文化財アーカイブ事業」として大日本印刷株式会社と株式会社と毎日放送の協力が進められている4Kカメラによる映像記録への収録撮影は、28年度に無事に終了した。29年度は編集作業に入り、7月の特別一般公開までにブルーレイDVD化の完成をみる予定である。

当該オリジナルブルーレイDVDは、42分程度にナレーション入りで編集予定であるほか、5分程度のダイジェスト版の製作を予定している。同品は、当財団関連グッズとして当財団内にて販売予定。また、高額寄付者への返礼品とする予定。

(3) 公開

一般に対する公開の機会の増設(別添ちらし参照)。

会員組織拡大につなげる事業を予定。

一般公開時の人材確保について、文化財保存に関わるボランティア組織に協力を要請。業務内容は、金銭授受の無いもの(受付・入場料受付・もぎり・場内整理・解説など)。

(4) 調査研究

調査研究に関わる刊行物の発行については、杉本家古文書研究会に作業をゆだねつつ進めたい。

(5) 会員組織

新規入会者数の増加につなげる事業として、特別公開講演会のような一般に対する公開の機会を増やすことを試行する予定である。同時に、当保存会の事業活動の広報周知を図ることを目的とする会員対象の公開事業に努めたい。

以上